

(公印省略)
三社協第122号
令和5年8月1日

各 区 長 様

三木市社会福祉協議会
会長 植 田 吉 則

「令和4年度三木市社会福祉協議会活動報告」回覧の
ご協力について（ご依頼）

盛夏の候、区长様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申しあげます。

平素は、本会事業につきましてご理解、ご協力をいただき厚くお礼申しあげます。

さてこのたび、本会の一年間の活動について会員の皆様方にご周知いただきたく、社協活動報告を作成いたしました。特に皆様方にご協力いただいております社協会費、善意募金、赤い羽根共同募金を活用させていただき実施しています地域福祉の取組についてご報告をさせていただければと存じます。

つきましては、お手数をおかけいたしますが、貴自治会において回覧により啓発のご協力をいただきたくお願い申しあげます。

【お問合せ先】

三木市社会福祉協議会

三木市大塚1-6-40

(三木市総合保健福祉センター2階)

電話 (0794) 82-4043

担当 近藤

あなたとともに

三木市社協ではさまざまな事業を展開しています。その多くはボランティアや地域住民、各種団体の協力や協働で進められています。これからもあなたとともにすみよいまちをつかっていきます。

介護保険・障害福祉サービス事業

介護事業に広く取り組んでいます。デイサービス（通所介護）8か所、ホームヘルプ（訪問介護）、訪問看護、居宅介護支援、はばたきの丘

高齢者通所介護施設

・ デイサービスセンター



介護の必要な高齢者が通いでレクリエーションを楽しみながら入浴や食事、機能訓練などのサービスを利用しています

1日あたり 約205人が利用

施設内においては、季節を感じてもらえるような工夫をするなど、一日楽しく過ごしていただいています。

障害者総合支援センター

・ はばたきの丘



ご利用者が行う作業や楽しんでできるプログラムなど、職員が工夫をして施設内でできる活動に取り組んでいます。

1日あたり 約40人が利用

障がいのある方々が日常生活を有意義に過ごすために、通いでさまざまなサービスを利用しています

相談支援事業

・ 権利擁護デスク



▲成年後見・権利擁護セミナー

成年後見制度の利用相談や制度の啓発、また、生活困窮者の生活福祉資金貸付相談の窓口です

地域の身近な相談窓口

・ あんしんサポートセンター

(デイサービスセンターに併設)



暮らしに関する相談や介護保険、ケアプランなどの相談窓口です。依頼を受けて、地域介護教室にも出向きます

あなたが支え あなたとつながり ともにすみよいまちをつくる 三木市社協



miki

三木市社会福祉協議会活動報告 2022

『社協』は見たり聞いたりするけれど、いったい何をやる団体ですか？「募金はするけど、どんなことに使われているのですか？」等々

住民の皆さんからこのような質問を受け、社協の活動をわかりやすくお伝えするため、このパンフレットを発行しております。

社会福祉協議会は、福祉のまちづくりと地域福祉の推進を使命としています。地域福祉はその地域に暮らす皆さまお一人お一人が主役となり、地域住民や関係機関との相互協力によって進められています。

近年、日本の少子高齢化は、先進諸国の中でも群を抜いて急速に進んでいます。やがて「1人の若者が1人の高齢者を支える」という「肩車型社会」の到来が見込まれる状況となっています。個人のライフスタイルが多様化し、かつてのようなつながりや支えあいが難しくなっている今こそ、つながりの再構築が求められています。

この活動報告で、三木市社協が皆さまと共に推進する地域福祉の取組を知っていただき、ご自身が住みよいまちづくりを支えている、それらの活動に参加していることを再確認していただくきっかけになれば幸いです。

これからも、あなたが支え、あなたを支える「三木市社協」をよろしくお願いいたします。

三木市社会福祉協議会 会長 植田吉則

miki

社協

社会福祉法人 三木市社会福祉協議会

〒673-0413 三木市大塚1丁目6-40

電話 0794-82-4043 FAX 0794-86-0860

本会の運営は皆さまからの会費で支えられています。

あなたが支える ～善意募金～

善意募金が支援の必要な人を支え、地域の福祉を支えています

◎福祉有償運送サービス



在宅で車いすなどを利用している移動困難な方を対象にリフトカーでの送迎活動を行い、在宅生活を支援しています。

R4年度 年間利用 996 回

利用登録者 83 名
運転ボランティア 29 名
(4 グループ)

善意募金
148 万円

◎福祉機器貸出

必要な方に貸し出し

R4年度 利用 289 件

貸出用車いすなども個人、団体の寄付に支えられています。



善意募金
9 万円

総合保健福祉センター、吉川健康福祉センターのほか、8箇所のあんしんサポートセンター（デイサービスセンター併設）で貸し出しをしています。

あなたの支えが、つながる

支援の必要な方につながる

善意銀行に寄せられたお米やレトルト食品などは子ども食堂や生活困窮者支援につながっています。

☆みき善意銀行寄託件数 19 件（お米）

企業様と社協の食料無償提供の取組

- ・コープこうべ
☆提供回数
50 回 3,070 点
- ・マックスバリュ西日本
☆提供回数
33 回 266 点



社協事業につながる

企業様などから工具作業袋や下着、介護用品のご寄付をいただき、ボランティアに配布や高齢者、障がい者の事業に活用しています。



あなたが支える ～赤い羽根共同募金～

共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ」です。

ありがとうございました



◎ふれあいサロン活動の支援

ふれあいサロン

R4年度 市内 80 か所

ふれあいサロンとは、住民相互のつながりづくりを目的とした身近な地域の居場所。居場所づくりやそこから見えてきた「地域で気になること」に取り組む活動を支援。



ふれあいサロン活動支援に
赤い羽根共同募金
128 万円

「家庭介護ふれあい」サロン

◎地域福祉活動の支援

マイクロバスやワゴン車をボランティア活動や地域福祉活動で利用する団体に貸出

車両の維持経費に
赤い羽根共同募金
123 万円

R4年度

- マイクロバス 74 回
- 7人乗りワゴン車 79 回
- 10人乗りワゴン車 74 回
- トラック 45 回
- 軽トラック 10 回



◎広報活動



社協だよりの発行
点訳版、音訳版の発行に
赤い羽根共同募金
150 万円

あなたとつながる

活動や事業を通じて、住民同士やボランティア・市民活動者とのつながりづくりをすすめます。

みきボランティアフェスタ



講演は会場での参加とリモートでの参加がありました。



みきおもちゃ病院の様子

ボランティア・市民活動団体が日頃行っている活動により参加